

平成20年9月1日

教育活動評価集計結果のお知らせ

京都市立植柳小学校
校長 武内 泰憲

長い夏休みも終わり、学校には元気な子どもたちの笑顔が戻ってきました。保護者・地域の皆様には、平素より本校教育推進のため、ご理解・ご協力・ご支援いただき厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、夏休み前に、ご協力いただきましたアンケート(教育活動評価)の集計が以下のようまとまりましたので、ご報告させていただきます。

なお、保護者の皆様のほか、本校教職員と子どもたちの集計についても同時に行いました。こうした結果をもとに、これからの教育活動をより一層充実させていきたいと教職員一同決意を新たにしております。

- A しっかりできている B どちらかといえばできている
C どちらかといえばできていない D ほとんどできていない
*各表の数値は、100%の割合を基準にしていますが、数値処理の関係上合計が100%にならない場合(99.9や100.1)があります。

1. 保護者:学校や学年のたより等は学校や学年のことをわかりやすく伝えている。
教職員:「学校教育目標」や「めざす子ども像」をいつも意識して教育活動を行っている。
子ども:毎日、学校に楽しく行っている。

	保護者	教職員	子ども
A	66.3	69.2	79.5
B	33.7	30.8	18.1
C			2.4
D			

< 考察 >

- 保護者、教職員ともに本校のめざすこどもの姿(瞳を輝かせていきいきと活動する子)の実現を意識した教育が行われている一定の評価が得られました。それを裏付けるように、子どもでは、A 79.5% B 18.1% 計 97.6% が楽しく学校に行けていると答えています。
本校は、病気による欠席はあるものの、それ以外の欠席はほとんどなく、遅刻もない状況が続いています。これは、毎日送り出していただいている保護者の皆さまのご協力のおかげであると感謝しています。また、同時に、地域の皆様の登校時下校時での「見守り活動」のおかげでもあると感謝しています。ただ、Cの評価をつけた子どもたちがいるという現実も素直に認め、今後の取組に一層努力したいと思います。

2. 保護者:学校では、子どものよさや可能性を伸ばすような教育活動を行っている。
教職員:一人一人の子どものもつよさや可能性を伸ばす努力をしている。
子ども:自分のよいところを学校で出している。

	保護者	教職員	子ども
A	44.3	84.6	34.9
B	54.4	15.4	45.8
C	1.3		18.1
D			1.2

< 考察 >

- 小規模校のよさである、一人一人を徹底的に大切にしたいきめの細かい教育活動がなされているかを評価していただきました。保護者・教職員・子どもともにAまたはBと回答された合計が80%を越える結果でした。しかし、C・Dをつけた子どもたちが20%近くいたことは今後の課題として真摯に受けとめたいと思います。自分のよいところを自信をもって出せると答えられるよう、教育活動をすすめていきます。

3. 保護者:学校は、保護者・地域の願いに応えるよう努力している。
 教職員:保護者・地域の願いに応えるよう努力している。
 子ども:学校や学年をよりよくしようと努力している。

	保護者	教職員	子ども
A	44.3	92.3	53.0
B	54.4	7.7	37.3
C	1.3		6.0
D			3.6

< 考察 >

- ・ 昨年度のアンケートでは、CまたはDと回答した子どもが15.9%いましたが、今年度は10%を下回りました。学校や学級をよりよくしようという気持ちのもと、この学校が好き・この学校で勉強できてよかった、という前向きな気持ちにつながります。

4. 保護者:学校では、人権教育の取組が行われている。
 教職員:人権教育の取組を積極的に行っている。
 子ども:自分や友だちをたいせつにし、いのちをたいせつにしている。

	保護者	教職員	子ども
A	44.9	76.9	83.1
B	51.3	23.1	14.5
C	3.8		
D			2.4

< 考察 >

- ・ 学校での人権学習を通して、自分や友だちを大切にすること、一人一人のよさやちがいを認めたいける、子ども達の人権意識はとても高いと思います。人権教育の取組というと漠然としてあまりイメージができないと思われる保護者もおいでになったと思います。教科の指導も含め、学校での教育活動全てが人権尊重という意識で行われている人権教育を今後とも積極的にすすめていきたいと考えています。

5. 保護者:学校には、子どものことで何でも気軽に相談できる。
 教職員:保護者や地域の方が相談しやすいようにしている。
 子ども:先生には何でも相談している。

	保護者	教職員	子ども
A	51.9	61.5	60.2
B	43	38.5	25.3
C	5.1		8.4
D			6.0

< 考察 >

- ・ 80%以上の保護者・子ども達から学校・教職員に相談できるという評価をいただきました。学校が子どもの教育を担っていく上で、保護者・地域の方の協力無しに成り立ちません。より一層、子ども達の教育について気軽に相談できる場となるよう努めていきます。

6. 保護者:学校は、環境整備(清掃・整理整頓)を行っている。
 教職員:環境整備(清掃・整理整頓など)を十分整えている。
 子ども:学校や家では整理整頓をしている。

	保護者	教職員	子ども
A	38.3	23.1	42.2
B	56.8	69.2	28.9
C	4.9	7.7	22.9
D			6.0

< 考察 >

- ・ 子どもたちは、毎日の美化活動においてとても熱心に取り組み、学校をきれいにしようと頑張っています。「古いから汚くても仕方がない」ではありません。自分たちの学校を大事にしようという気持ちを育て、それを実践してほしいと思います。落し物やごみそのままの教室。掲示物が破れたままの状態では学習にも影響します。整理整頓と学習効果は密接な関係があると思います。

7. 保護者:教職員は子どもにわかりやすく工夫した授業をしている。
 教職員:子どもにわかりやすい工夫した授業を行っている。
 子ども:先生の話を書いている。

	保護者	教職員	子ども
A	59.5	54.5	61.4
B	40.5	45.5	25.3
C			10.8
D			2.4

< 考察 >

- 保護者・教職員・子どもたちともAまたはBと回答されたのが85%を越えていました。教職員は、子どもたちによりわかる授業・楽しい授業ができるよう教材研究に励んでおります。授業場面で、先生の話がしっかりきける子どもの姿は、将来社会に出た時必要な「生きる力」につながります。

8. 保護者:子どもは、学校生活を楽しんでる。
 教職員:子どもが、学校が楽しいと言える教育活動を行っている。
 子ども:学校の行事に楽しく参加している。

	保護者	教職員	子ども
A	79.5	61.5	80.7
B	20.5	38.5	16.9
C			1.2
D			1.2

< 考察 >

- 本校の子どもたちは、どの行事や催しにも積極的に参加しています。どんな行事が楽しいですかという質問には「植柳まつり・運動会・学芸会・山の家」などを答えていました。また、植柳夏まつり・ワンアウトキック・親子ドッジボール等、地域やPTAの行事を楽しんでいる子どももありました。地域やPTAの皆様が子ども達のために行事を行っていただいていることは大変ありがたいことです。

9. 保護者:子どもたちは進んで挨拶している。
 教職員:子どもに笑顔であいさつや声かけをしている。
 子ども:自分からあいさつや声かけをしている。

	保護者	教職員	子ども
A	42.2	84.6	77.1
B	54.2	15.4	19.3
C	3.6		2.4
D			1.2

< 考察 >

- 人と人との関係をよりよくするためには、挨拶や声かけは欠かすことはできません。子ども達もそのことは十分理解しているのですが、学校以外では、というところで課題があると思われます。きっと保護者の方も、その点で、Aの回答がBより少なかったと思います。子ども同士だけでなく、お家の人、地域の人（見守り隊の方など）にも自分から挨拶や声かけができると素晴らしいと思います。

10. 保護者:子どもの服装や言葉遣いは適切である。
 教職員:服装や言葉遣いはいつもきちんとしている。
 子ども:ふくそうや言葉づかいはきちんとしている。

	保護者	教職員	子ども
A	30.1	53.8	43.4
B	62.7	46.2	41.0
C	7.2		9.6
D			6.0

<考察>

- ご家庭では、正しい言葉遣いについてとても関心をもっておられることがわかります。正しい言葉遣いについて子どもたちはとても意識しています。しかし、気持ちが高ぶったり、抑えられなかったりすると、乱暴な言葉をつかうことがあります。その場その場で適切な指導が必要です。また、教職員も常に子どもにとって「最も身近な教育環境は教職員である」ことを意識しながら教育活動を行っていききたいと思います。

11. 保護者:家庭では、学校や学年のたより等に目を通すようにしている。
 教職員:学校や学級の様子がよくわかるようにたより等を工夫している。
 子ども:学校や学年のたよりを見ている。

	保護者	教職員	子ども
A	62.7	58.3	61.4
B	30.1	33.3	26.5
C	7.2	8.3	7.2
D			4.8

<考察>

- 学校の取組や子ども達の様子を知っていただくために、たよりは欠かすことができません。そのことを十分理解していただいていることが、保護者や子ども達の回答からわかります。ただ、子どもの10%以上のCまたはDの回答については、手立てが必要です。お家の方でも、学校からの配布物はないか、お子たちに声かけをしていただけるとありがたいです。

12. 保護者:家庭では、子どもとのふれあいや対話をもつよう努力している。
 教職員:子どもとのふれあいや対話をもつようにしている。
 子ども:先生や友だちと楽しくすごしている。

	保護者	教職員	子ども
A	61.4	53.8	86.7
B	34.9	46.2	8.4
C	3.6		4.8
D			
無回答			

<考察>

- 子ども達とのふれあいや対話の大切さについては、十分承知されています。しかし、なかなか時間的な余裕がないというのが実情だと思います。短時間でも、子ども達と時間を共有することで、いろいろな情報が得られると思います。教職員は、子ども達とのふれあいや対話に心がけ、学級経営にいかします。

13. 保護者:家庭では,健康(早寝・早起き・朝ごはん)や安全に配慮している。
 教職員:子どもの健康や安全によく配慮している。
 子ども:自分のけんこう(はやね・はやおき・朝ごはん)や安全に気をつけて生活している。

	保護者	教職員	子ども
A	42.2	76.9	55.4
B	50.6	23.1	31.3
C	7.2		7.2
D			6.0

< 考察 >

- 保護者・教職員・子どもともAまたはBの回答で80%以上を占めました。健康安全に気をつけることは,自分のいのちを守ることにつながります。残念ながら,学年がすすむにつれて,早寝の習慣がなくなっているようです。体を休めるためには,適度な睡眠が必要です。そのことを繰り返し指導していきたいと思います。ご家庭におかれましても,ご協力をお願いします。

14. 保護者:家庭では,地域行事に進んで参加させている。
 教職員:家庭訪問や地域行事への参加を積極的にしている。
 子ども:地域の行事に参加している。

	保護者	教職員	子ども
A	32.1	76.9	62.7
B	51.9	23.1	18.1
C	12.3		13.3
D	3.7		6.0

< 考察 >

- 地域行事についての子ども達の関心は高く,できるだけ参加したいという声が聞こえます。ただ,習い事や家庭の用事などで参加したくても参加できないことがあるというのが実情です。地域の方は,体育的・文化的な取組を工夫しておられます。この地域の教育力の高さがそれぞれの行事に反映されていることがわかります。

15. 保護者:家庭でのきまりや約束は,守らせている。
 教職員:きまりや約束は,徹底して指導している。
 子ども:きまりややくそくは,しっかりまもっている。

	保護者	教職員	子ども
A	32.5	69.2	59.0
B	57.8	30.8	31.3
C	9.6		7.2
D			2.4

< 考察 >

- 学校でのきまりや約束については,子ども達はだいたい守れているようです。しかし,家庭でのきまりや約束となると少し不安がありそうです。「きまりや約束を守る」ことがよりよい学校生活や家庭生活を過ごすことにつながり,結果として「自分や他の人を守る」ことになるということを子ども達に伝えていきたいものです。

以上,お答えいただいた15の質問について結果をお知らせいたしました。その他として,自由記述欄に温かいお言葉や励まし,お礼,気になる点やご意見などをいただきました。本当にありがとうございました。

今回のアンケートの中で,学校として改善しなければならない点を前期後半と後期にかけて確実に実行し,植柳小学校の教育活動を保護者・地域の皆様とともにいきなり,よりよい学校づくりに励んでいきたいと思っております。

今後とも温かなご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

1
2
3